

さまざまな機会を得て障がいのことを発信したい

人の役に立てるようにになりたい

横のつながりができていれば助け合いができる

幸せのために考え、チームで支えていく

社会福祉法人 方光会
藤原 知也 さん

育児119岩手支部
高橋 友妃子 さん

専修大学北上高校3年
佐藤 悠星 さん

里親支援センターぜんゆう
阿部 恵 さん

あなたが思う ふくしってなに？

「ふくし」に対する考え、取り組みのポリシーは人それぞれ。各分野の実践者や福祉に関心のある人まで「ふくしとはなにか？」を聞いてみました。

音楽をやりながら支援したい

今まさに悩んでいる人に役立てたい

関わる人みんながすまいるに

子ども食堂 キッチンすまいるの会

folkの森緑化推進協議会
高橋 信幸 さん

発達障がい児者支援サークルあじっこ
伊藤 由美子 さん 八重樫 みどり さん

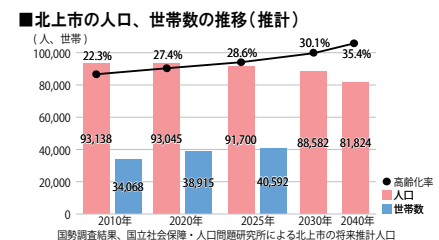
子ども食堂 キッチンすまいるの会
菊池 洋子 さん



特集 あなたとわたしの「つながり」が まちの「ふくし」になる

「ふくし」と聞くと、どんなことを思い浮かべますか。高齢福祉や障がい福祉、子育て支援など、市役所や相談機関の窓口、福祉施設を思い浮かべる人も多いでしょう。もちろん、それらは誰もが安心して暮らしていくための大切な仕組みです。しかし、それだけで私たちは安心して豊かな日々を送ることができるのでしょうか。今回の特集では、まちの「ふくし」と「つながり」を考えていきます。■問い合わせ…地域福祉課 ☎0197-72-8213

社会変化に伴う「困りごと」の複雑化
私たちは日々、家族や友人、職場の仲間だけでなく、趣味や地域のさまざまな活動で知り合う人など、多くの人のとの関わりの中で暮らしています。しかし今、私たちを取り巻く社会は大きく変化しています。本市は人口減少が進む一方で、世帯数は増加。2010年の3万4068世帯から2025年には4万592世帯に増えていきます。また、高齢化率は2020年の27.4%から2040年には35.4%に上昇すると推計されています。一人暮らし世帯や高齢者のみの世帯の増加など、家族の形や暮らしが変化しています。また、見守りや支援を必要とする人の増加とともに、これまで地域で支える役割を担っていた人が減少するといったことが懸念されています。実際に、子育てと介護を同時に担う、社会とのつながりを持ちにくく孤立するといった複雑で複合的な困りごとや、表面化してきています。支え合いによる安心して暮らせる地域を目指して、複雑・複合化してきている困



りことは、一つの制度やサービスだけで解決できるものばかりではありません。専門的な支援だけではなく、気軽に相談できる相手が身近にいることや、安心して過ごせる居場所があること、誰かと趣味を楽しむ時間があることが力になる人もいます。改めて、そうした日常のさまざまな関わりに、必要な支援や制度を重ね合わせていくことが求められています。北上市地域福祉計画では、「支え合い 誰もが安心して暮らせる地域社会」を将来像として掲げています。これからの地域には、どのような支え合いの形が必要なのでしょう。

「つながり」で選択肢が増えて、もっと幸せに生きることができる



大阪公立大学大学院
文学研究科 准教授

菅野 拓 さん

防災・復興政策や生活困窮者支援など社会的課題の解決を研究。北上市を含む岩手県内各地で災害ケースマネジメントの講演を実施

福祉とは「誰もが幸せに生きること」です。しかし、誰しも困りごとは急にやってきます。災害や事故に遭う、失業するなど、自分で対応できない状況になることがあります。そのようになるに力になるのが、人と人との「つながり」です。一番安価で楽しく、社会全体で作れ出す保険のような存在とも言えます。つながりが増えることで、人が幸せに生きる選択肢が増えます。

つながりの形はいろいろあると思いますが、トップがいるような「フミッド型」だけでなく、クモの巣のような網の目のネットワーク型も必要です。例えば、「この指止まれ」の形で楽しくいて、関心があることを仲間と一緒にやることでネットワーク型のつながりが生まれます。人はいくつもの側面を持っていて、家庭や地域の中で常に支



北上市社会福祉協議会
(左から)相談支援課 佐藤 千尋 さん、
菊池 一希 さん、佐藤 剛 さん

北上市民生委員児童委員協議会
(左から)会長 石塚 一平 さん、副会長 藤
原 雄雄 さん、副会長 伊藤 喜美子 さん

つながりをつくる つながりをささえる

まちには「つながり」を大切に日々活動している人たちがいます。市民からの相談を受け、関係機関につなぐ活動をしている民生委員・児童委員、地域の福祉課題に取り組んでいる北上市社会福祉協議会の皆さんに、活動から見た現状などをお聞きました。

活動している中で、地域の変化は感じますか
北上市民生委員児童委員協議会の皆さん(以下、民児協の皆さん) 以前は子どもも大人も地域の行事を通じてつながりを持つことができていました。最近では少なくなったと感じています。
北上市社会福祉協議会の皆さん(以下、社協の皆さん) 地域活動への参加者や担い手が少なくなっている地域もあります。相手を知らないから誘うこともできず、つながりに誘う環境になっただけでいる人もいます。しかしながら、人と人をゆるやかにつなげる力があるのもまた地域です。
「つながり」を増やすためにどのような活動をしていますか
民児協の皆さん 多くの人に声をかけることです。草取りをしている人、散歩している人、初対面でも話しかけます。自分の趣味の活動でも同じです。そうすると、何となく顔見知りのようなつながりが出てきて、見かけなくなったりすると「何かあったのかな」と気付きます。
社協の皆さん あいさつや声かけは大事です。最初は一言しか話をしなくても、次に会ったときに話が広がり、徐々につながりが強くなっていきます。社会福祉協議会では、地域住民や関

係機関との連携の強化や、福祉への関心や意識向上のための働きかけを大切にしています。
民児協の皆さん 身近なつながりが一番のポイントです。隣近所ももちろんですが、地元に限らず関心の持てるグループに入るのもいいですね。
社協の皆さん まちの中で小さくても取り組みが増えると、まちの雰囲気も少しずつ変わってきます。日常のつながりが増え、顔見知りが増えると孤立感が減り、暮らしの大きな安心につながります。また、それがまちの誇りや「協力して何かを成る」文化になっていきます。
民児協の皆さん 「楽しさ」も活動を続けるために大切な要素です。それから、悩みごとがあったら、誰かに頼ることも大切です。民生委員・児童委員にも相談できます。
社会福祉協議会だからできるサポートはありますか
社協の皆さん 社会福祉協議会は、福祉に関するかどうか分からない悩みや複数の課題を抱えて相談先に迷っている場合にもお話を伺います。困りごとを抱えた本人のほか、支える立場の人の悩みも、関係機関と連携して相談者と一緒に考えていきます。どのような人でもお気軽に相談してください。

あなたの身近な相談窓口一覧

市民の皆さんの話をお聞きし、関係機関と連携しながら支援を行います。不安なこと、気になることがありましたらご連絡ください。

■生活困窮、その他心配ごとや悩みごと

窓口	電話番号
北上市社会福祉協議会(暮らしの自立支援センターきたかみ)	72-6074

■高齢者の総合相談に関すること

窓口	担当地区	電話番号
市長寿介護課	全地区	72-8217
地域包括支援センター本通り	黒沢尻北・黒沢尻西	72-7254
地域包括支援センター北上中央	黒沢尻東・相去・鬼柳	72-6178
地域包括支援センター展勝地	飯豊・立花・黒岩・口内・稲瀬・二子・更木	61-0225
地域包括支援センター展勝地サテライト		62-5603
地域包括支援センターわっこ	江釣子・和賀	77-5055
地域包括支援センターわっこのわ		62-3247

■障がい者の総合相談に関すること

窓口	電話番号
市障がい福祉課	72-8214
自立生活支援センター北上	63-7289
相談支援事業所萩の江(主に知的障がい者)	65-6330
相談支援センターさくら(主に精神障がい者、障がい児)	63-2039
サポートにじ(主に障がい児)	0197-43-2787

■子育てに関すること

窓口	電話番号
市こども家庭センター	72-8297
市地域子育て支援センター(おやこセンター)	63-3118



「ふくし」は、誰かを助ける特別な活動だけではありません。
あいさつを交わすこと。
お互いを気にかけること。
子どもを見守ること。
困っている人に声をかけること。
「助けて」と言える人がいること。
そんな日々のちょっとした「つながり」が実は「ふくし」であり、誰かの安心や支えになっています。そう、あなたとわたしの間にも。